

11月11日～12月12日
電池月間



でんち

社団法人 電池工業会

BATTERY ASSOCIATION OF JAPAN

〒105-0011 東京都港区芝公園3丁目5-8
機械振興会館内

電話 (03) 3434-0261 (代)

E-mail. bajapan@hi-ho.ne.jp

ホームページ <http://www.baj.or.jp/>

振替口座 東京8-91022

発行人 木村侃丘

定価1部郵送による年決め2,400円

平成14年7月1日

BATTERY ASSOCIATION OF JAPAN

第23回小形二次電池部会開催

平成14年6月5日、機械振興会館において林部会長（ジーエス・メルコテック(株)社長）を議長に開催された。冒頭に、林部会長の挨拶があり、続いて木村専務理事から事務局報告、そして各種委員会からの活動報告が行われた。

1. 部会長挨拶

- 2001年度のビジネス環境は最悪であった。2002年度は期待したいが、業界として一致できる部分を極力進めたい。
- 中国でのモノ作りが本格的にスタート。中国の状況等について一緒に討議できる方向を持ちたい。
- リサイクルや環境の切り口で成果が問われており、センター任せでなく部会としても支援したい。

2. 事務局報告

- 市況が上昇傾向にあるとの関係業界の見方には注意深く見守る必要がある。4月度は全体で金額前年比99.2%である。リチウムイオン電池は102.3%、ニカド電池は108.1%、ニッケル水素電池は85%と厳しい。
- 5月の総会で、平成13年度決算と平成14年度の予算が承認された。また新会長と副会長が選任された。
- 新会員となった中国メーカーには、日本の業界の健全な発展と成長に貢献してほしい旨、伝えている。
- BAJが参画している省庁委員会等の動向とその対応、また海外関連では、アジア情勢（中国・韓国の生産等）やTWG計画案の紹介を行った。

3. 委員会報告と審議

1) 業務委員会

- 2002年1～3月の販売実績報告
- 海外における日本企業の生産統計は、3社以上が生産している地域を対象とし、当面地域別は避け、海外をト

ータルとした形で5月度からスタートすることになった。

2) 技術委員会

- JIS(1件)とIEC(8件)の規格整備の取組み状況を報告

3) 国連対応委員会

- 米国政府に対する官報告知の修正や日本・国土交通省への国内法への提案、並びに要請の強いIATABattery Seminarに対する協力推進について報告

4) 海外環境委員会

- 平成13年度の活動では、欧州の規制状況や台湾調査の詳細報告、平成14年の計画では、地域別対応及びTWG会議への取組みが紹介された。

5) 再資源化委員会

- 「識別表示ガイドラインの改訂版」を発行、「産構審要求事項への対応」等の課題を報告

6) 広報委員会

- 全電池共通の広報活動8テーマと小形二次電池関係5テーマの活動状況報告

7) PL委員会

- 平成14年度の活動テーマ5件と、全電池PL合同テーマ4件の活動状況を報告

8) 再資源化推進センター

- 運営委員会と総会の状況、回収拠点と回収量の結果報告
- 「広域指定の申請」は、各会員会社が申請者となる事が望ましく、代表者あてに依頼する。

9) リチウムイオン電池のリユースに関する件

- 部会長から、本件について背景や検討項目と体制及び期間等の主旨説明があり、事務局から事故事例等の市場情報を紹介した。
- PL、再資源化、技術の委員会で検討する。

平成14年度 第1回二次電池部会開催

平成14年6月20日、機械振興会館において、山崎部会長を議長に第1回二次電池部会（鉛5社）が開催された。

冒頭に、山崎部会長の挨拶があり、続いて木村専務理事から事務局報告、そしてリサイクル関連委員会からの新リサイクルの取組み報告と審議が行われた。

1. 事務局報告

●電池業況報告として、4月度の出荷金額は18ヶ月ぶりに前年比100.2%（一次電池113%、二次電池96%）となった。但し数量は108%であり、価格の下落が続いている。底打ち感はあるが見届け必要。

●自動車リサイクル法は衆議院の産業経済委員会の審議を通過し、参議院に送られた。7/中旬に通過の予定。

2. 自動車用電池の新リサイクルプログラム審議

自動車電池リサイクル特別プロジェクトから新リサイクル・プログラムの説明があり審議した。

部会決定事項は

1) リサイクル費のユーザー負担を確保のため、別立て表示方式を認めてもらう様に国会の付帯決議も利用するなどの検討をする。

2) 第三者機関を設置することは基本的に了解だが、内容、運用等を検討すること。

3) 資材委員会では、特に再生鉛購入関係について各社の意見をまとめる。

3. 産業用電池の新リサイクルスキームの審議

二次電池リサイクル委員会拡大事務局から新リサイクルスキームの説明があり審議した。

部会決定事項は

1) 産業用電池委員会と連携をとり、根本的な問題を明確にして、申請方法も含め二次電池部会で決定出来る案を速やかに作成すること。

2) 民生用電池の方針も、部会で審議できる具体案を作成すること。

小形二次電池再資源化推進センター便り

小形二次電池の回収状況（平成14年5月末）

	ニカド電池	ニッケル水素	リチウムイオン	小形シール鉛
本年度回収目標量	820t	125t	360t	32t
4月度単月実績	56.7t	4.9t	21.8t	1.4t
5月度単月実績	53.3t	7.0t	13.9t	1.6t
4～5月累計実績	110.0t	11.9t	35.7t	3.0t
前年同期比（累計）	104%	78%	81%	3.1%
目標量進捗率	13.4%	9.5%	9.9%	9.4%

ホームページ：<http://www.jbrc.com>

業界動向

***YUASA** 欧州での経営の効率化を図る為、バーミンガム(英国)に100%の子会社を(ユアサバッテリーヨーロッパ社)5月1日に設立。将来的には研究開発も含めた拠点化を予定中。
(5月1日付 日経、日経産業、電波&日刊工業)

***シャープ** 太陽電池の需要が急増中の為、生産能力を現在の2.1倍の年間200メガワットにアップする事を正式決定した。
(5月1日付 化学工業日報)

***総務省** 電話、ファックス等の通信端末機器で、メーカー自らが技術基準への適合を宣言する制度の創設の検討を開始する。
(5月1日付 日刊工業)

***JR東日本** 同社の定期券・プリペイドカード(スイカ)のICチップを携帯電話に搭載する為の交渉を開始した。2004年を目処に携帯電話を自動改札機にかざすだけで入出場が可能になる予定。
(5月1日付 日経産業)

***ノキア・ジャパン** 欧州など海外で使えるGSM対応の携帯電話の発売を開始した。
(5月2日付 日経産業)

***米国通商代表部(USTR)** 中国国内での外国製品の模倣・複製について中国政府に警告と改善を強く働きかけることを意思表示。
(5月2日付 日経)

***セイコーウオッチ&セイコーエプソン** 腕時計事業を合同役員会で一括管理し腕時計の製販を一体化へ。
(5月3日付 日経)

***松下通信工業** 欧州を中心に海外でモバイルインターネットサービスが本格化することを踏まえ、3%まで低下した世界シェアを今年度末には4%に引き上げる。
(5月3日付 電波)

***松下電工** 新ジャンル商品となるローションを塗布しながら髭を剃る三枚刃シェーバーの販促を強化する。
(5月4日付 電波)

***GfKジャパン** 4月第4週までの全国3,400店舗のパソコン販売台数が前年同期比で1.5%増になった。10.3%増と好調だったノート型がけん引役。
(5月7日付 日経)

***フォッシル(米時計メーカー)** パーム製PDAなどのデータをダウンロード、保存して腕時計画面で閲覧できる腕時計を開発した。
(5月8日付 日経産業)

***LG化学** 2005年までにリチウムイオン電池(含リチウムポリマー)の月産生産能力を1,500万個体制とし世界3位のリチウムバッテリーメーカーを目指す旨を発表。
(5月9日付 化学工業日報)

***三洋電機** 二次電池を手掛けるソフトエナジーカンパニーがロボット事業へ参入、ホンダとのハイブリッド自動車向け電池の共同開発での提携、太陽電池の輸出の再開等電池事業での攻勢をかけている。
(5月9日付 日経産業)

***YUASA** 廃棄するまで補水不要を実現した高性能の自動車用新バッテリーを開発、販売を開始した。
(5月10日付 化学工業日報)

***大阪ガス** 燃料電池の低価格化につながる耐久性に優れた高機能触媒を、ズードケミーグループ(独)と共同開発した。2004年度の商品化を目指す。
(5月10日付 日経、日刊工業、日経産業&化学工業日報)

***政府** 石油に変わるエネルギー源として期待されている燃料電池の実用化の後押しと日本企業の国際的な開発競争を側面から支援する為、開発、普及を妨げている保安管理規制などを2005年までに緩和と一部は廃棄へ。
(5月10日付 日経)

***オリンパス光学工業** デジタルカメラの撮影部と顕微鏡を組み合わせたデジタル顕微鏡を開発、6月3日から発売へ。
(5月10日付 日経産業)

***NECトーキン** 角形リチウムイオン電池の中国生産を、計画から2ヶ月前倒し7月から開始、本年末には月300万個の生産能力の確保へ。
(5月11日付 電波&化学工業日報)

***特許庁** 国際機関である世界知的所有権機関(WIPO)とともに、アジアで急増中の日本製品の模造品対策で本格協力を行う。
(5月11日付 日経)

***セイコー、シチズン時計、カシオ計算機&オリエント時計** 中国で生産される腕時計の模造品問題が深刻さを増している、日本メーカー4社は協同で模造品摘発を継続中。
(5月13日付 日経産業)

***経済産業省** 部品の再利用など環境に配慮した製品の基準や、大気汚染物質の測定方法などをJISで定める為の研究開発に入る。
(5月13日付 日経)

***三洋電機** 中国、インドネシアで増産、2002年中にデジタルカメラの生産能力を年間1000万台に引き上げる。
(5月14日付 日経産業)

***環境省&経済産業省** 家電リサイクル法施行初年度(2001年4月~2002年3月)のリサイクル実績を公表、家電4品ともに法定基準を達成、おおむね順調に推移した事が窺われる。
(5月14日付 日経&日経産業、化学工業日報)

***三洋電機** 次世代二次電池の開発で、産学協同の大型プロジェクトを明らかにした。これを基にハイブリッドカー用電池などの高性能化を進める。
(5月14日付 日刊工業&化学工業日報)

***NECトーキン** プロトンポリマー電池の商品化をコイン型電池で計画、将来的には、燃料電池、太陽電池との組み合わせを予定中。
(5月15日付 化学工業日報)

***NEC&富士重工** 自動車向け高性能電池を開発する新会社を共同出資で設立した。ハイブリッド車向けで三年内の実用化を目指す。
(5月15日付 日経、電波、日刊工業&化学工業日報)

***東京工業大学** 天然ガスの主成分であるメタンガスを水素と炭素に直接分解出来る新触媒を開発した。燃料電池向けに水素を供給する有力な技術として企業と共同で実用化を目指す。
(5月16日付 日経産業)

***日立造船** 大阪府立大学工学研究科と共同で導電性ナノシートを開発、連続生産に成功した。キャパシタ、リチウムイオン電池の高性能化への応用が期待される。
(5月17日付 日刊工業)

***コンパル(東京)** 手動の携帯電話用充電器を発売した。地震、キャンプ時の非常電源としての需要を期待している。
(5月21日付 日経)

***経済団体連合会** 「次世代の産業の基盤づくりに向けた研究開発の推進について」と題した提言の中で、燃料電池等9課題について官民で研究開発に取り組みべきと指摘。
(5月21日付 日経産業)

***政府** 特許等の知的財産の創造と保護を目的とした「知的財産基本法案」を年内にも国会に提出する方針を固めた。
(5月21日付 日経)

***国土交通省** 使用済み自動車から取り出したエンジン等の部品リサイクルを促進する為のガイドラインを纏めた。
(5月21日付 日経)

***財団法人日本自動車研究所(経産省の外郭団体)** 燃料電池の水素燃料が漏れた際に、人が感知出来る様にする付臭剤を開発した。2003年度を目標に燃料電池自動車の実用化を目指す企業に採用を呼びかける。
(5月27日付 日経産業)

***経済産業省** 水素ステーションと家庭用燃料電池の事業家に向け、集中実証試験を02~04年度に行う。
(5月27日付 日刊工業)

***松下電器産業&日立製作所** 白物家電分野の包括提供の一環として、環境負荷の指標の統一等環境対策で提供する事で合意。
(5月28日付 日経&日経産業)

***シチズン時計** データ安全性の向上の為、指紋認証機能を搭載したPDAを開発、来年2月から出荷へ。
(5月28日付 日経産業)

***松下電池工業** 和歌山工場でのニッケル水素電池などの電池生産を今年7月で停止し電池部材の拠点として再整備する事、停止分は当面茅ヶ崎工場が生産を担当する事を明らかにした。
(5月28日&29日付 化学工業日報)

***松下電池工業** 石田社長、二次電池事業の再生に向けての具体策として技術開発を強化する事、小形燃料電池等の全く新しい電池系にも積極的に挑戦したい等の抱負を語る。
(5月29日付 電波)

***経済産業省** 循環型経済システム構築の一環として家電、パソコンのリサイクル性などに関する製品規格を2003年度末までに国内規格として一本化。国際規格化させる方針を明らかにした。
(5月30日付 化学工業日報)

***FDK** 電池ビジネスの強化の為、乾電池の製造販売を行う新会社「FDKエナジー」を、8月1日付(予定)で設立する旨を発表。
(5月31日付 日経、電波、日経産業、日刊工業&化学工業日報)

***日石三菱** 家庭用の燃料電池を開発した。液化石油ガスが燃料で作動温度が80度と低いのが特徴。2004年度を目処に発売を予定。
(5月31日付 日刊工業)

平成14年 6月度の電池工業会活動概要

部会	6月度開催日	委員会・会議	主な審議、決定事項
特別会議その他	5日(水)	小形二次電池部会	*関連委員会からの報告及びリチウムイオン電池リユース対応の審議など
	14日(金)	新種電池研究会	*新種電池に関するトピックス、未来技術(電池含む) 予測の紹介など
	21日(金)	広報二次電池WG	*平成14年度活動内容の確認、展示会担当者の設定
	21日(金)	広報展示会WG	*各展示会の準備打合せ
	21日(金)	広報委員会	*各WG報告と記者懇談会準備確認
二次電池部会	4日(火)	産業用電池リサイクル分科会	*産業用電池 27条申請の対応、情報交換
	4日(火)	小形鉛分科会	*安全・取扱い指針の改正案
	5～6日	(自)リサイクル特別プロジェクト	*自動車電池(二輪含む)の新リサイクルスキーム検討
	7日(金)	二次電池リサイクル(委)拡大事務局	*産業用電池新リサイクルスキーム審議
	7日(金)	用語分科会	*規格表作成マニュアル(電池工業会指針) 制定案
	11日(火)	自動車鉛分科会	*IEC会議での宿題事項まとめ。安全・取扱い指針改正案。
	11～12日	(自)リサイクル特別プロジェクト	*自動車電池(二輪含む)の新リサイクルスキーム検討
	13日(木)	産業用電池リサイクル分科会	*産業用電池 27条申請の対応、情報交換
	14日(金)	二次電池リサイクル(委)拡大事務局	*産業用電池新リサイクルスキーム審議
	14日(金)	(自)需要予測小委員会	*2002年需要予測のシュミレーション
	15日(土)	(自)技術サービス小委員会	*全整備依頼のテキスト(電池関連) 改正案。安全取扱い啓蒙資料改正案
	17日(月)	資材小委員会	*共用金型、共通部品の検討
	17～18日	(自)リサイクル特別プロジェクト	*自動車電池(二輪含む)の新リサイクルスキーム検討
	19日(水)	二次電池リサイクル(委)拡大事務局	* (自)リサイクル特別プロジェクトと合同審議(産業用・自動車)
	20日(木)	二次電池部会	*自動車用、産業用電池新リサイクルスキーム構築の審議
	21日(金)	据置鉛分科会	*制御弁式電池の技術指針改正案。IEC規格改正案(投票用)のコメント
	25日(火)	二次電池リサイクル(委)拡大事務局	*産業用電池新リサイクルスキーム審議
	25日(火)	(自)市販小委員会	* (自)新リサイクルシステムについて。ルート別販売について。
	25日(火)	電気車鉛分科会	*小形電動車用電池技術指針改正案。IEC規格への提案内容
	26日(水)	EV用電池委員会	*分科会で作成したEV用リチウム電池規格の内容審議
	26～27日	(自)リサイクル特別プロジェクト	*自動車電池(二輪含む)の新リサイクルスキーム検討
	27日(木)	据置アルカリ分科会	*密閉式アルカリ蓄電池のJIS制定案。電流値表示記号について
小形二次電池部会	6日(木)	PL委員会	*リチウムイオン電池のリユース規制について、部会指示の推進仕方を討議
	6日(木)	工場環境委員会	*土壌汚染対策法の検討、PRTR届出の状況など
	10日(月)	第1回TLWG検討会議	*廃リチウム電池の安全輸送と保管に関するガイドライン案の検討
	12日(水)	リチウム2次分科会	*IEC規格回答原案の審議(統合安全規格、組電池ガイド、機械試験等)
	12日(水)	アルカリ分科会	*回収ニカド電池の調査、ニカド、ニッケル水素回収率算定の検討など
	13日(木)	小形シール鉛分科会	*回収率の算出、実績公表について
	14日(金)	ニカド・ニッケル水素分科会	*IEC規格回答原案の審議(統合安全規格、組電池ガイド、機械試験等)
	17日(月)	PL拡大事務局会議	*PL正副委員長と事務局で、第1回合同会議(6/28)の運営方法を確認
	18日(火)	NEMA対応WG会議	リチウムコイン電池の飲み込み事故に対する対応指針の検討
	19日(水)	再資源化委員会	回収率目標設定の対応、事業系電池使用機器の廃棄調査の検討など
	20日(木)	第2回TLWG検討会議	ガイドラインの構成と表現に関する修正文書の作成
	20日(木)	国連対応委員会	*米国官報の告知案に対する修正案の検討及びIATAセミナーの対応
	21日(金)	国土交通省会議	*適用除外品の包括申請手続に関する業界試案を説明
	21日(金)	第2回BAJ-TWG会議	*東邦亜鉛、三菱重工と3者で見学会の受け入れ体制を検討
	25日(火)	海外環境委員会	*欧州の中欧と東欧に関する規制案のまとめとH14年度の計画確認
	26日(水)	業務委員会	*小形二次電池の5月度出荷実績、5月輸出分の用途調査など
	26日(水)	第1回リチウムイオン電池リユース対応合同会議	*PL委員、再資源化正副委員長、Li2次正副主査、弁護士で現状把握
	28日(金)	臨時アルカリ分科会	*6月度のニカド、ニッケル水素回収品の経過年の調査
一次電池部会	6日(木)	循環技術委員会	*循環技術取り組み課題検討
	7日(金)	循環技術委員会	*野村興産(株)イトムカ鉱業所見学
	7日(金)	一次電池資材委員会	*資材におけるリスク管理、民事再生の実例の講演
	7日(金)	JIS小委員会	*JIS規格体系の検討、JIS C 8501改正の内容、分担の検討
	7日(金)	IEC小委員会	*TC35国際WG審議内容の確認、IEV電池用語の審議
	7日(金)	リチウムWG	*TC35/JWG12(リチウム電池輸送安全規格)での審議内容確認
	12日(水)	PL委員会	*携帯電話用充電器のトラブルへの対応方策の確認
	13日(木)	環境対応委員会	*ボタン電池回収経緯。TWG会議発表テーマ決定
	13日(木)	器具委員会技術ワーキング	*SBA規格・携帯電灯の見直しと改訂版発行のスケジュール確認
	14日(金)	業務委員会	*乾電池需要予測、ボタン電池回収、海外電池の解析等確認
	18日(火)	一次電池部会NEMA対応会議	*コイン電池誤飲事故に関するNEMAの要請への対応検討
	18日(火)	中央共同募金会	*乾電池の寄付等本年度の行事内容とスケジュールの確認
	20日(木)	器具委員会	*広報活動への参加、安全表示ガイドラインの改定等の協議
	28日(金)	一次電池電池技術委員会	*一次電池系JIS規格とIEC規格の整合化案検討

●●●●● 新製品ニュース ●●●●●

高度利用が可能な蓄電池併設形太陽光発電システム 「パワーソーラーシステム」を商品化

日本電池株式会社(社長:田中千秋)は、蓄電池併設形太陽光発電システム「パワーソーラーシステム」を商品化し、6月15日から販売を開始いたします。

当社は「エネルギーをかたちに」をコーポレート・メッセージとして、クリーンな自然エネルギーの有効利用を目指し、電力会社の商用電力系統と連系する系統連系形太陽光発電システムの開発に取り組んでいます。

個人住宅用太陽発電の新しいニーズとして、蓄電池を装備し、電力系統から自立した高度利用が可能なシステムを求める声がありました。今回発売する「パワーソーラーシステム」は蓄電池を併設した新しいタイプの単相系統連系用太陽光発電システム(4.5kW)で、太陽電池、パワーコンディショナ、蓄電池装置で構成しています。通常の太陽光発電システムに充放電制御装置機能と蓄電池を付加して、安価な夜間電力を効率的に活用することができます。また、蓄電池に蓄えられた電力は、災害などの非常時にも活用が可能です。

蓄電池には長寿命かつ優れた安全性を兼ね備えた顆粒クラッド式鉛電池「SLC70-4V」を採用し、1システムに32個(64セル)搭載しています。

当社では太陽光発電システム市場の需要拡大を見越して、太陽光発電システムに蓄電池を加えることでこれまでにない新しい可能性を導き出し、太陽光発電システムのさらなる普及・実用化に貢献していく考えです。

太陽光発電システムを設置されるお客様からは、太陽電池やパワーコンディショナ、蓄電池の販売だけでなく、最適な設計、設置工事やアフターサービスなどの総合機能が要求されます。当社はこれまでの多数の施工実績を踏まえ、一層のシステムコスト削減を図る技術開発に積極的に取り組むとともに、より信頼性の高いクリーンで安価なエネルギーを提供してまいります。

[特長]

1. 時間帯別電灯契約で経済的に電力を利用

夜間時間帯(午後11時～午前7時)に約6円/kWhの電気を蓄電池に充電し、昼間時間帯(午前7時～午後11時)は約27円/kWhの時に蓄電池から負荷へ放電することによって電力料金を削減することができる。

2. 高効率パワーコンディショナの採用

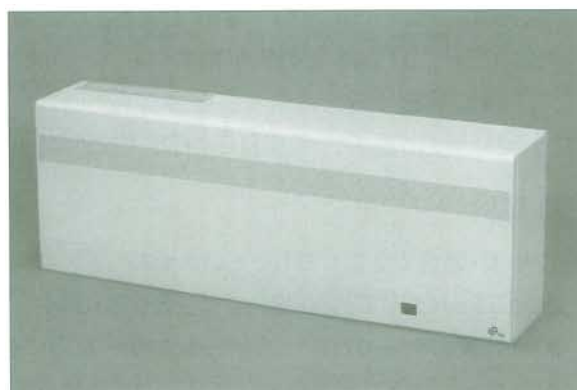
系統連系運転および蓄電池充電運転も1台のパワーコンディショナで制御し、92.5%と高い電力変換効率を達成。

3. 停電時もバックアップ可能

停電時でも蓄電池によるバックアップが可能で、介護住宅などにあるホームエレベータや電動ベッドおよび照明などの電源として使用できる。

4. 長寿命蓄電池の採用

5. 蓄電池盤の屋外コンパクト設計



パワーソーラーシステム
パワーコンディショナ LBSC-4.5-S3CX



蓄電池 SLC70-4V

●●●●● 新製品ニュース ●●●●●

高輝度白色LED付 防犯ブザー「LED付110番ブザー」を発売

松下電器産業(株)と松下電池工業(株)は、近年の犯罪事情の悪化に伴い防犯対策用品のニーズが高まる中 いざと言う時に活躍する大音量で高輝度白色LED付のおしゃれな小型軽量110番ブザーを6月1日から発売します。

[特長]

1. 小型・軽量で女性が持ちやすいサイズ
2. ヒモを引くだけで約80dBのブザー音が鳴り響く
3. 高輝度白色LED付きで、ちょっとした明かりとりにも使用可能
4. ブザーとライトは別電源なので、安心して使用可能



[使用電源] [電池寿命]

CR2025×3個(ブザー部:1個、ライト部:2個)

連続使用時 約20分(パナソニックリチウム電池使用時)

大音量で危険を知らせる 防犯ブザー「ミニ110番ブザー」を発売

松下電器産業(株)と松下電池工業(株)は、近年の犯罪事情の悪化に伴い防犯対策用品のニーズが高まる中 いつでも持ち歩ける、携帯電話のストラップとしても使える携帯しやすい軽量・コンパクトサイズの防犯ブザー「ミニ110番ブザー」を6月1日から発売します。

[特長]

1. 携帯しやすい約18gの軽量・コンパクトサイズ
《軽量化 当社現行品比 約36%を実現!》
2. ヒモを引くだけで約80dBのブザー音が鳴り響く
3. アクセサリーとしても使えるかわいいデザイン



[使用電源] [電池寿命]

CR2025×1個

連続使用時 約20分(パナソニックリチウム電池使用時)

お詫びと訂正

社団法人電池工業会
会報誌編集委員

いつも社団法人電池工業会の会報誌「でんち」をご愛読頂きましてありがとうございます。

さて、6月1日付け発行の会報誌「でんち」の記事中、一部に誤数値の掲載箇所がありました。深くお詫びいたします。再発防止をいたすと共に訂正版を添付しましたので差替えをお願い申し上げます。

訂正箇所：8頁 統計資料

下側表の3月度電池輸出入実績(財務省貿易統計)

表の右欄「1月～当月累計」の数量前年比と金額前年比の数値を全て訂正いたしました。

3月度電池および器具販売実績(機械統計)

(平成14年3月)

単位:数量=千個、金額=百万円(本年よりマンガン乾電池の単二がその他に含まれました)

	単 月				1月～当月累計			
	数 量	金 額	数量 前年比	金額 前年比	数 量	金 額	数量 前年比	金額 前年比
電池・器具総合計	525,462	60,918	89%	89%	1,385,465	164,080	89%	88%
全電池合計	524,767	59,409	89%	89%	1,383,234	159,772	89%	88%
一次電池計	379,882	13,819	87%	87%	988,318	34,913	88%	88%
マンガン乾電池計	97,489	1,948	89%	84%	261,763	5,199	89%	86%
単一	10,172	510	82%	79%	28,672	1,449	86%	84%
単三	56,323	855	94%	85%	144,847	2,123	94%	88%
その他	30,994	583	84%	86%	88,244	1,627	83%	86%
アルカリ乾電池計	111,802	5,939	79%	76%	276,321	14,793	84%	82%
単三	74,494	3,423	80%	74%	175,104	8,033	81%	75%
単四	21,803	1,098	71%	67%	58,460	2,961	88%	83%
その他	15,505	1,418	85%	89%	42,757	3,799	97%	98%
酸化銀電池	73,785	846	79%	76%	211,479	2,429	88%	85%
リチウム電池	87,780	4,585	97%	105%	220,479	11,613	86%	97%
その他の乾電池	9,026	501	212%	249%	18,276	879	149%	167%
二次電池計	144,885	45,590	94%	89%	394,916	124,859	93%	88%
鉛電池計	3,852	14,345	89%	93%	10,516	37,685	88%	90%
自動車用	2,066	6,565	92%	93%	5,799	19,119	93%	88%
二輪用	469	923	82%	92%	1,225	2,386	88%	99%
小形シール	987	1,019	82%	84%	2,687	2,782	77%	79%
その他	330	5,838	98%	96%	805	13,398	96%	93%
アルカリ電池計	98,290	11,412	88%	84%	268,131	32,353	88%	88%
完全密閉式	42,862	4,671	88%	89%	115,693	13,025	85%	88%
ニッケル水素	55,396	5,914	88%	77%	152,368	17,703	90%	86%
その他のアルカリ電池	32	827	123%	124%	70	1,625	125%	119%
リチウムイオン電池	42,743	19,833	113%	90%	116,269	54,821	108%	87%
器具計	695	1,509	90%	101%	2,231	4,308	90%	97%
携帯電灯	343	460	91%	113%	1,173	1,234	91%	87%
電池器具	352	1,049	88%	96%	1,058	3,074	89%	102%

3月度電池輸出入実績(財務省貿易統計)

(平成14年3月)

単位:数量=千個、金額=百万円(少数以下四捨五入の為、合計が合わないことがあります)

	単 月				1月～当月累計			
	数 量	金 額	数量 前年比	金額 前年比	数 量	金 額	数量 前年比	金額 前年比
全電池合計(輸 出)	296,624	30,297	96%	89%	767,170	81,603	93%	91%
一次電池計	165,255	3,677	89%	97%	427,665	9,455	86%	92%
マンガン	56,269	454	118%	106%	144,728	1,167	101%	105%
アルカリ	16,850	336	59%	73%	44,854	846	62%	69%
酸化銀	33,631	434	69%	73%	92,911	1,195	85%	86%
リチウム	55,918	2,368	97%	106%	137,491	6,011	84%	95%
空気亜鉛	2,275	44	122%	126%	6,693	132	119%	135%
その他の一次	312	41	43%	143%	987	103	85%	67%
二次電池計	131,369	26,619	106%	88%	339,505	72,148	103%	90%
鉛蓄電池	429	733	55%	57%	1,211	2,145	65%	74%
ニカド	37,853	3,515	99%	100%	95,462	9,206	93%	97%
ニッケル鉄	48	7	>>>	609%	51	11	25%	52%
ニッケル水素	41,558	3,865	85%	64%	114,394	10,894	90%	70%
リチウムイオン	38,838	16,185	135%	94%	94,940	43,299	123%	95%
その他の二次	12,643	2,315	187%	115%	33,447	6,591	169%	107%
全電池合計(輸 入)	38,351	3,855	86%	89%	116,730	11,448	96%	95%
一次電池計	35,148	1,372	90%	121%	107,630	3,547	102%	95%
マンガン	8,452	133	66%	77%	28,978	428	94%	93%
アルカリ	23,847	530	98%	116%	71,441	1,675	106%	122%
酸化銀	467	9	182%	96%	1,249	26	125%	96%
リチウム	1,235	139	148%	145%	2,745	334	88%	81%
空気亜鉛	145	9	53%	72%	1,143	46	93%	105%
その他の一次	1,003	551	231%	144%	2,074	1,038	158%	73%
二次電池計	3,203	2,483	59%	77%	9,099	7,902	55%	95%
鉛蓄電池	461	1,221	88%	90%	1,408	4,021	92%	100%
ニカド	1,694	520	140%	125%	3,930	1,295	106%	106%
ニッケル鉄	0	0	0%	0%	3	5	>>>	90%
ニッケル水素	-	-	-	-	-	-	-	-
リチウムイオン	-	-	-	-	-	-	-	-
その他の二次	1,048	742	28%	51%	3,758	2,581	33%	84%

4月度電池および器具販売実績（機械統計）

（平成14年4月）

単位：数量＝千個、金額＝百万円（本年よりマンガン乾電池の単二がその他に含まれました）

	単 月				1月～当月累計			
	数 量	金 額	数量 前年比	金額 前年比	数 量	金 額	数量 前年比	金額 前年比
電池・器具総合計	514,916	54,657	108%	100%	1,900,381	218,737	93%	91%
全電池合計	514,034	53,173	108%	100%	1,897,268	212,945	93%	91%
一次電池計	379,257	14,350	107%	113%	1,367,575	49,263	92%	94%
マンガン乾電池計	86,351	1,811	89%	96%	348,114	7,010	89%	88%
単一	9,536	507	109%	110%	38,208	1,956	91%	89%
単三	45,599	710	83%	86%	190,446	2,833	91%	87%
その他	31,216	594	94%	98%	119,460	2,221	86%	89%
アルカリ乾電池計	112,800	6,371	105%	109%	389,121	21,164	90%	88%
単三	71,638	3,535	108%	109%	246,742	11,568	87%	83%
単四	23,213	1,149	86%	83%	81,673	4,110	87%	83%
その他	17,949	1,687	131%	141%	60,706	5,486	105%	109%
酸化銀電池	82,834	930	113%	109%	294,313	3,359	94%	91%
リチウム電池	91,521	4,927	125%	125%	312,000	16,540	95%	104%
その他の乾電池	5,751	311	156%	175%	24,027	1,190	151%	169%
二次電池計	134,777	38,823	109%	96%	529,693	163,682	97%	90%
鉛電池計	2,902	8,789	93%	87%	13,418	46,474	89%	89%
自動車用	1,559	4,935	107%	102%	7,358	24,054	95%	91%
二輪用	360	711	78%	83%	1,585	3,097	85%	95%
小形シール	818	844	85%	83%	3,505	3,626	79%	80%
その他	165	2,299	74%	68%	970	15,697	91%	88%
アルカリ電池計	88,749	10,001	103%	90%	356,880	42,354	91%	89%
完全密閉式	40,501	4,483	116%	106%	156,194	17,508	92%	92%
ニッケル水素	48,219	5,328	93%	80%	200,587	23,031	91%	85%
その他のアルカリ電池	29	190	207%	86%	99	1,815	141%	115%
リチウムイオン電池	43,126	20,033	126%	104%	159,395	74,854	112%	91%
器具計	882	1,484	94%	94%	3,113	5,792	91%	96%
携帯電灯	453	494	88%	104%	1,627	1,728	90%	91%
電池器具	429	990	102%	89%	1,486	4,064	92%	99%

4月度電池輸出入実績（財務省貿易統計）

（平成14年4月）

単位：数量＝千個、金額＝百万円（少数以下四捨五入の為、合計が合わないことがあります）

	単 月				1月～当月累計			
	数 量	金 額	数量 前年比	金額 前年比	数 量	金 額	数量 前年比	金額 前年比
全電池合計（輸 出）	276,652	29,000	105%	100%	1,043,822	110,602	96%	93%
一次電池計	156,439	3,250	93%	92%	584,104	12,705	88%	92%
マンガン	47,722	390	80%	86%	192,450	1,557	95%	99%
アルカリ	11,449	219	56%	55%	56,303	1,065	61%	65%
酸化銀	36,868	449	109%	105%	129,779	1,645	90%	91%
リチウム	58,395	2,121	117%	98%	195,886	8,132	92%	96%
空気亜鉛	1,692	32	128%	96%	8,385	165	121%	125%
その他の一次	313	39	8%	58%	1,301	142	25%	65%
二次電池計	120,213	25,749	126%	102%	459,718	97,897	108%	93%
鉛蓄電池	459	782	75%	78%	1,670	2,928	67%	75%
ニカド	34,551	3,218	138%	127%	130,013	12,425	102%	103%
ニッケル鉄	0	2	0%	149%	51	13	23%	58%
ニッケル水素	36,339	3,586	98%	71%	150,733	14,481	92%	70%
リチウムイオン	36,720	16,212	136%	109%	131,660	59,512	126%	98%
その他の二次	12,144	1,948	211%	101%	45,591	8,540	179%	106%
全電池合計（輸 入）	47,137	3,819	138%	123%	163,867	15,268	105%	101%
一次電池計	44,079	1,750	147%	189%	151,709	5,297	112%	113%
マンガン	8,829	132	118%	127%	37,807	560	99%	100%
アルカリ	28,877	568	139%	130%	100,318	2,243	113%	124%
酸化銀	411	9	147%	135%	1,661	35	130%	104%
リチウム	1,787	215	191%	361%	4,532	549	111%	116%
空気亜鉛	63	10	30%	115%	1,206	56	84%	107%
その他の一次	4,112	817	1051%	262%	6,186	1,855	363%	107%
二次電池計	3,058	2,069	75%	95%	12,158	9,971	59%	95%
鉛蓄電池	449	1,147	121%	112%	1,857	5,168	97%	103%
ニカド	1,580	363	206%	142%	5,510	1,658	123%	113%
ニッケル鉄	0	2	3%	53%	3	6	848%	76%
ニッケル水素	-	-	-	-	-	-	-	-
リチウムイオン	-	-	-	-	-	-	-	-
その他の二次	1,029	558	35%	63%	4,787	3,139	33%	79%